

2022年4月2日

関係各位

社会福祉法人中心会
理事長 浦野正男
児童養護施設 中心子どもの家
所長 丹 清

新型コロナウイルス感染者(職員、入所児童)の発生について

(5)

本年3月23日(水)にご報告して以降、新たに3名(職員1名、入所児童2名)の感染が判明しましたので、次の通り時系列でご報告致します。

(これまでの累計：職員5名、入所児童7名)

1. 3月25日(金)夕方の、職員1名(この時点では採用内定者)の感染判明について

- (1) 3月23日(水)の午後、当該職員は当施設で実習をしていました。
- (2) 3月24日(木)の朝、当該職員は発熱と倦怠感があったため、この日の当施設での実習を休み、同日昼にPCR検査のために検体を採取しました。
- (3) 3月25日(金)の夕方、当該職員のPCR検査の結果が「陽性」と判明しました。夜、当該職員が発熱の前日に実習した生活区域の入所児童全員、関連する職員全員、関連する保護者1名の検体を採取しました。(全16名)
- (4) 3月26日(土)の夕方、そのPCR検査の結果が判明し、全員が「陰性」と判明しました。

2. 3月29日(火)昼頃の、退所したばかりの児童1名の感染判明について

- (1) 3月25日(金)、当該児童は退所しました。
- (2) 3月26日(土)の夕方、上「1.の(4)」の通り、当該児童もその保護者も「陰性」と判明しました。
しかし、同日のその後、当該児童は発熱しました。
- (3) 3月27日(日)の午後、当該児童は医療機関を受診し、医師からは「風邪だろうから、PCR検査は不要である」旨の診断を受けました。
- (4) 3月28日(月)の朝、上(3)の医師の診断に安心できなかった当施設では、本法人が備蓄しているPCR検査キットを保護者に届け、検体を採取し、検査機関に発送しました。
並行して、当該児童が退所前に生活区域を同じくしていた入所児童全員(9名)の検体を採取しました。
- (5) 3月29日(火)の昼頃、当該児童は「陽性」、保護者は「陰性」、入所児童全員は「陰性」と判明しました。

3. 3月30日（水）昼過ぎの、入所児童1名の感染判明について

- (1) 3月29日（火）の昼過ぎ、退所したばかりの児童の陽性が判明してすぐに、退所したばかりの児童と生活区域を同じくしていた入所児童全員と、関連する職員の検体を採取しました。（全13名）
- (2) 3月30日（水）の昼過ぎ、入所児童1名の「陽性」が判明しましたので、すぐに隔離しました。
これに伴い、当該児童と生活区域を同じくする入所児童全員、関連する職員全員の検体を採取しました。（全12名）
- (3) 3月31日（木）の夜、全員が「陰性」と判明しました。

感染の疑いがある症状や状況があれば迅速にPCR検査を実施し、感染の拡大を最小限にとどめております。また、保健所と密接に連絡を取り合い、助言を頂きながら感染が拡大しないよう努めております。

皆様には大きなご心配をお掛けし申し訳ございませんが、引き続き感染防止に最大限の努力を払いますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。